

事例発表

インターンシップの質の向上セッション

インターンシップを軸とした 農力開発プログラム

新潟大学農学部

教授 箕口 秀夫

1
1学年

見る・知る

入門科目 | 地域交流サテライト実習

2
2学年

基礎科目 | 基礎農力

観る・考える

3
3学年

実践科目 | インターンシップ

視る・働く

4
4学年

発展科目 | 応用農力

診る・挑む

サテライト学修 I II III IV 全体概要

地域の教育力を生かしたサテライト学修 I ~ IV を各学年に配置。
地域交流サテライト実習、実務者による教育(基礎農力)、各学科
コースインターンシップ、実務者による教育(応用農力)を
通じて農学分野における就業力「農力」を段階的に育成。



▶ キャリアジムによる段階的な就業力育成過程

1

入門科目

見る・知る

(1学年)

サテライト学修 I

様々な農林生産現場、工場、研究所等の現場を体験し、地域における農学の必要性と使命を認識する。

・地域交流サテライト実習



2

基礎科目

観る・考える

(2学年)

サテライト学修 II

・実務者による教育
「基礎農力」



3

実践科目

視る・働く

(3学年)

サテライト学修 III

実際の農林業や関連産業の現場で現地研修を受け、それらに対する理解を深める。そして、将来どのようなかたちで地域に貢献できるかを具体的に考える。

・各学科インターンシップ
※PBL型インターンシップ



4

発展科目

診る・挑む

(4学年)

サテライト学修 IV

・実務者による教育
「応用農力」



1

見る・知る

入門科目 | 地域交流サテライト実習

2

基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

2学年

3

実践科目 | インターンシップ
視る・働く

3学年

4

発展科目 | 応用農力
診る・挑む

4学年

サテライト学修 I II III IV 全体概要

概要

未来を切り開く「農力」のある人材を育てる。

- ・農力とは「積極的に地域社会に貢献しようとする誠実さに裏打ちされた農学分野における課題解決能力」である。
- ・入学から卒業までサテライト学修 I・II・III・IVを各学年に配置し、学年進行とともに狙いを変えつつ、現場体験、人的交流を通して段階的に農力を持った人材を育成する「体系的な人材育成カリキュラム」である。

段階的農力育成

サテライト学修IV
(4年)

- ・実務者による教育(応用編)
On Campus PBL型インターンシップ

サテライト学修III
(3年)

- ・学科インターンシップ
体験型+PBL型インターンシップ

サテライト学修II
(2年)

- ・実務者による教育(基礎編)
On Campusインターンシップ

サテライト学修I
(1年)

- ・地域交流サテライト実習
3dayインターンシップ



Force in Agriculture
農力
2014

1 見る・知る
入門科目 | 地域交流サテライト実習

2 基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

3 実践科目 | インターンシップ
視る・働く

4 発展科目 | 応用農力
診る・挑む

地域交流サテライト実習(サテライト学修Ⅰ)

1 入門科目
サテライト学修Ⅰ
見る・知る
(1学年)



Force in Agriculture
農力
2014

【目的】 農学が取り組むべき課題, すなわち, 君たちが学び, そして研究すべきことは何か? 様々な農林業生産現場、工場、研究所等の現場を体験し、地域における農学の必要性と使命を認識する。

【単位】 25プログラム(H26)の中からから3箇所以上のプログラムを選択、体験することにより1単位

※所属学科プログラム+所属学科以外プログラム=3プログラム以上を選択

【対象】 主に1年生が履修

【期間】 5月～9月の土・日, 夏期休暇に実施



参考:平成26年8月7日実施 新潟県森林研究所



参考:平成23年8月6日実施 長岡市小国町



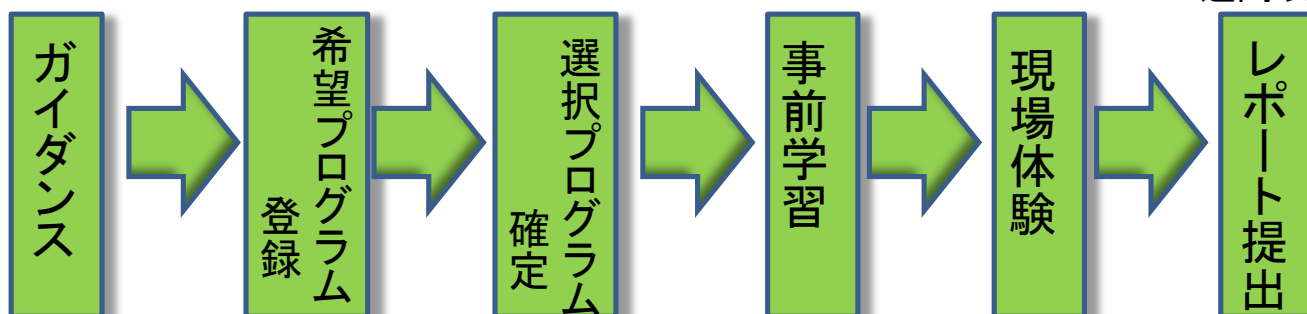
4月

4月

5月

5月～9月

実施日から
1週間以内



地域交流サテライト実習<スケジュール>



- ・見学先検討, 受入依頼
- ・受入先調整プログラム作成

- ・ガイダンス
- ・プログラムの希望受付
- ・プログラムの調整・確定
- ・確定プログラムの連絡

・事前学習



各プログラム実習期間



・実習終了後1週間以内に
レポートの提出



- ・成績評価
- ・単位取得

WEBサイトから登録

農学部ホームページ
からリンク



地域交流
サテライトプログラム
バナーからアクセス



エントリー画面登録

